

奈良県

# 芸能 まつり 2021



令和3年

3月6日(土)

イオンモール大和郡山  
1階北小路コート

第一部 11:00～13:00

第二部 14:00～16:00



守られてきた伝統芸能で  
今こそ元気に

出演 奈良県指定無形民俗文化財

田原の祭文音頭  
篠原おどり

室生の獅子神楽  
龍口の獅子舞

東安堵の六斎念仏  
八島の六斎念仏

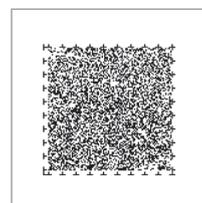
お問い合わせ

奈良県芸能まつり事務局(インパクト株式会社内)  
TEL.0742-32-2330(平日 10:00～17:00)

【観覧自由】ただし新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、観覧席の制限あり

新型コロナウイルス感染症  
拡大防止対策について

観覧エリアでは、感染防止策として手指消毒、マスクの着用、接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードの  
お願いするほか、「入場人数制限」「ご入場時の体調チェック」「ご入場者の検温」などを実施した上で開  
催させていただきます。なお、当イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大の情勢を踏まえて  
中止又は実施内容を変更する場合があります。



Uni-Voice

主催:奈良県

# 奈良県 芸能まつり

奈良県指定無形民俗文化財



## 1 田原の祭文音頭 たわらのさいもんおんど

奈良市田原地区

保持団体：田原地区伝統芸能保存会

日程：8月1日～15日で土曜又は日曜

祭文音頭は、田原地区の盆踊りの最初に踊られ、「石童丸」「平井権八」「壺坂豊験記」などの演目がある。踊り場では、四方に笹竹の付いた檜が中央に組み、その上で音頭取りは法螺貝と錫杖を手に音頭を取るが、昔は音頭台の上に乗し、大きな傘を差し掛けて音頭を取ったとされる。現在の保存会は、昭和初年まで活動していた地元の砂川座が上演していた祭文語り（祭文）と祭文音頭を受け継いでいる。砂川座は、明治から戦前にかけて大和高原一帯を巡業していた伊賀地方の山崎流の影響を受けて結成された一座で、農閑期や祭りに田原地区や周辺の村々へ祭文の門付に巡業したり、盆踊りで音頭取りをつとめた。祭文音頭は、滋賀県の江州音頭の前身ともされる古い盆踊り歌で、県内に江州音頭が広まると次第に踊られなくなった。【撮影 野本暉房】



## 2 室生の獅子神楽 むろうのししかぐら

宇陀市室生 室生龍穴神社

保持団体：田原地区伝統芸能保存会室生神楽保存会

日程：10月15日に近い日曜

秋祭りの午前、獅子は雌雄一対で5垣内の集会所や当屋で垣内まわしを行う。御幣を手にした獅子1頭が鈴を振りながら玄関から中に進み、台所で竜祓いをする。その後、玄関先に出て「鈴の舞」「魔除け」「剣の祓い」を舞う。この3曲はシャンコシャンコと総称される。続けてもう片方の獅子に交代し「荒獅子」が舞われる。午後、太鼓橋から室生寺境内にある天神社へのお渡りの一行に加わり、天神社で「鈴の舞」のさわりを雌雄一対で舞う。その後、一行は龍穴神社へ渡御する。最初に雄の獅子、続いて雌の獅子によるシャンコシャンコの3曲が舞われる。その後、雄の獅子、続いて雌の獅子による「荒獅子」が舞われて終了する。【撮影 江藤弥生】



## 3 東安堵の六齋念仏 ひがしあんのどろくさいねんぶつ

生駒郡安堵町東安堵

保持団体：田原地区伝統芸能保存会大宝寺六齋講

日程：8月13日～15日他

安堵町東安堵に伝わる六齋念仏は、盆行事と月毎の営み、葬式で唱えられる民間の念仏である。盆は8月13日に極楽寺で念仏の後、東安堵周辺の共同墓地である阿土墓で念仏を唱える。14日は大宝寺で念仏を唱えた後、東安堵の檀家をまわり、最後は「高塚」と呼ばれる観音菩薩を祀る祠の前で座って念仏を唱えて終わる。15日は御布施開きと称し、大宝寺で念仏を唱える。六齋念仏は「南無阿弥陀仏」の六字名号に節をつけて唱えることから「唄う念仏」と言われる。県内にはかつては60ヵ所以上の六齋念仏が伝わっていたが、現在伝承されているのは東安堵以外には八島の六齋念仏（奈良市）、東佐味の六齋念仏（御所市）だけになっている。【撮影 青江智洋】



## 4 篠原おどり しのはらおどり【国選択無形民俗文化財】

五條市大塔町篠原 天満神社

保持団体：田原地区伝統芸能保存会篠原おどり保存会

日程：1月の第3日曜日

1月25日直前の日曜に、氏神の天満神社の祭りで奉納される。男性は手にした締太鼓を打ちながら、背後で女性が扇を手に踊る。神前で「式三番」と呼ばれる「梅の古木踊り」「宝踊り」「世の中踊り」の3曲を奉納するが、昔は祭りの後に萬福寺の宴席で夜を徹して他の曲も踊られた。歌詞は室町末期の流行歌謡である「小歌」で、踊りは戦国時代から江戸初期に近畿地方から西日本一帯に流行した風流踊りである。もとは37曲もの踊り歌を持っていたが、現在は17曲を伝承している。これだけの演目を伝える風流踊りは全国でも稀であり、当時の吉野山地の一集落が持っていた文化の高さと豊富さを物語るものである。【撮影 五條市教育委員会】



## 5 龍口の獅子舞 りゅうぐちのししまい

宇陀市室生龍口 白山神社

保持団体：田原地区伝統芸能保存会龍口獅子舞保存会

日程：10月第4日曜

伊賀系の獅子神楽である。秋祭りでは宵宮の朝から本宮の午前中まで村舞わしをする。玄関で最初に「四方」を舞うと、手にしていた御幣を家主に渡し、祝儀をいただく。次に舞い用の御幣を手に「御参」を舞い、玄関の外に出て「悪魔祓い」をし、最後に「大振り」を行う。夕食の後、本頭屋、相頭屋の順で頭屋舞わしをする。「四方」「御参」「悪魔祓い」の3曲と「天狗」を舞い、最後に「大振り」を行う。その後、本頭屋宅から神社までのお渡りに加わり、拝殿前で「四方」「御参」「悪魔祓い」「天狗」の4曲と「獅子踊り」を舞うが、最後は「大振り」で終了する。本宮の午後は、宵宮の続きの頭屋舞わしを行い、昼食後は神社に渡御し、「四方」「御参」「悪魔祓い」「天狗」「獅子踊り」を舞う。【撮影 野本暉房】



## 6 八島の六齋念仏 やしまのろくさいねんぶつ

奈良市八島町

保持団体：田原地区伝統芸能保存会八島鉦講

日程：8月13日～15日他

八島の六齋念仏の特徴は鉦だけでなく太鼓を使うことである。鉦念仏は念仏を唱えつつ右手の撞木で左手に持った鉦の凸面を打つもので、シゼン・バンドウ・ハクマイの3曲が伝わる。太鼓念仏は、大小2個の鉦打太鼓を用い、鉦を打ちながら詞章を唱えるウタヨミとそれに続く太鼓と鉦だけを打つウチコミとのセットで構成されている。ウタヨミには「念仏行者」「地獄、地獄」「西院の河原」の3曲がある。3月15日の涅槃会、8月7日・13日・14日の盆行事、檀家の葬式で唱えられるが、中心は8月の盆行事である。県北部の六齋念仏は古くは矢田寺（大和郡山市）から免許を受けていたとされるが、八島では講に伝わる寛永18年（1641）の鉦銘からこの頃には念仏結衆があったとみられる。【撮影 松本純一】



スケジュール（公演順）

第一部 11:00～13:00	第二部 14:00～16:00
1 2 3 4 5	1 2 6 4 5



イベントが中止になる場合や内容、順番が変更になる場合がございます。